

感染症週報〔市内週報 平成22年第22週〕

結核・感染症発生動向調査

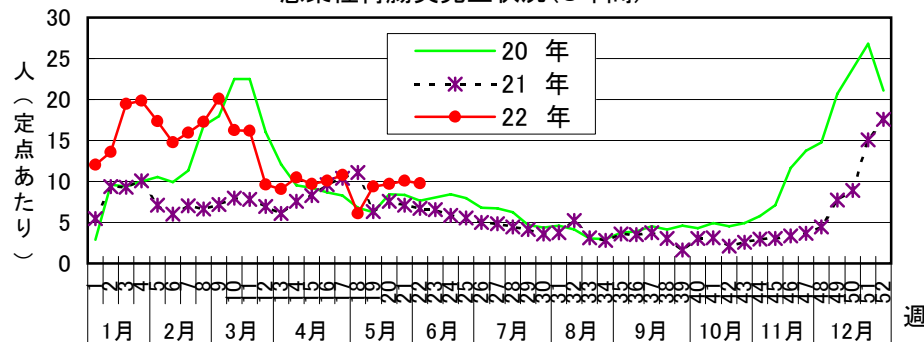
平成22年6月8日

平成22年第22週感染症発生状況【川崎市内】

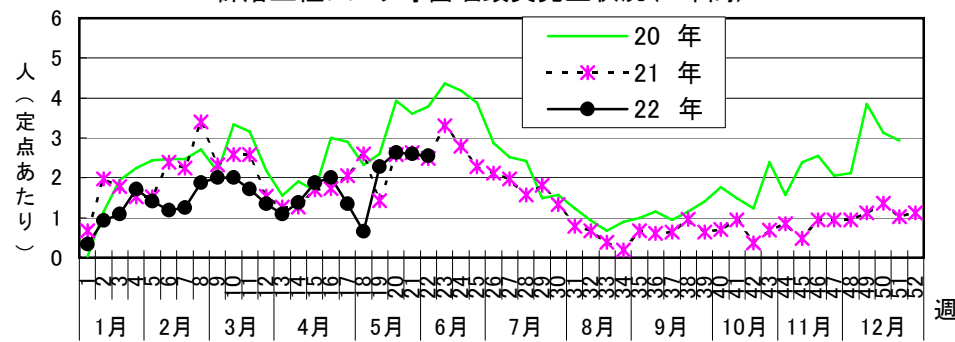
平成22年5月31日～平成22年6月6日

5類感染症(定点把握疾患)等	全数把握疾患	届 出	累計(平成22年第1週以降)
<p>第22週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) ヘルパンギーナ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。</p> <p>感染性胃腸炎が定点あたり9.79人と前週(10.06人)に比較して患者数はやや減少しております。</p> <p>ヘルパンギーナは定点あたり2.79人と前週(1.38人)に比較して大幅に増加しており、過去10年間の同時期と比較すると最も高いレベルで推移しております。</p> <p>第21週に大幅に患者数が増加した水痘は、グラフにあるとおり、第22週は定点あたり2.15人と報告数は減少しています。ただし、水痘は増加と減少を繰り返しているため、今後の発生動向に注意が必要です。</p>	1類感染症	なし	なし
	2類感染症	結核 5件	結核 140件
	3類感染症	なし	腸チフス 1件、腸管出血性大腸菌感染症 4件
	4類感染症	なし	デング熱 1件、A型肝炎 1件、レジオネラ症 3件
	5類感染症	後天性免疫不全症候群 1件	アメーバ赤痢 7件 ウイルス性肝炎2件 クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1件 後天性免疫不全症候群 4件 梅毒 1件 破傷風 1件 風しん 1件 麻しん 4件

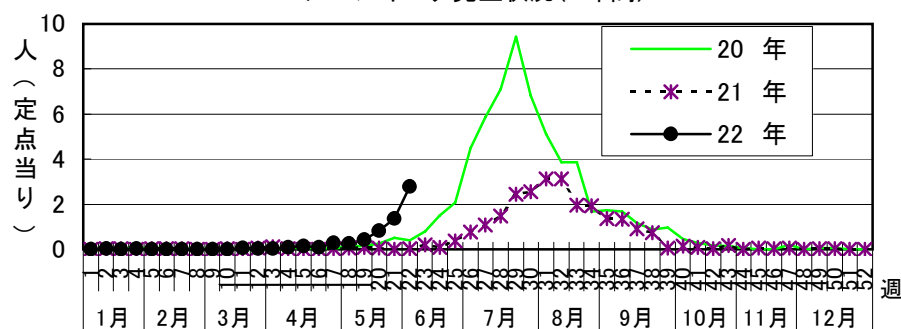
感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)

